

2023年度
第16回

あおもり産木材活用 建築コンテスト作品集



ヒバ製楯を手に(前列左から)中井久美一級建築士(SHIRAKAMI LIFE DESIGN建築設計事務所)、赤穂直樹社長、椛澤卓馬代表、山崎専務、日沢社長、日沢景太氏、高橋社長、(後列左より3人目)下山真那美氏(下山旅館)

住宅新築部門

木づかい大賞 企業組合県木住 ▶ 「ほしい」を実現した無垢の家

木づかい賞 1952HINOKIYA一級建築士事務所・(有)赤穂工務店 ▶ 柏崎の家

木づかい賞 (有)日沢建設 ▶ お家で楽しもう! すべり台のある家

県民投票賞 (有)日沢建設 ▶ お家で楽しもう! すべり台のある家

住宅リフォーム部門

審査員特別賞 SHIRAKAMI LIFE DESIGN建築設計事務所 ▶ 暮らしつなぐ家

県民投票賞 (株)亜細亜建設 ▶ ～青森ヒバ香る吹抜～性能向上と意匠性を備えたリノベーションハウス

非住宅その他木質化部門

審査員特別賞 (株)WAA・(有)下山旅館・(株)福萬組 ▶ サンバスタンド

住宅新築部門の木づかい大賞は県木住 一般投票で選ぶ県民投票賞には2作品

第16回あおもり産木材活用建築コンテストの表彰式が令和6年2月5日、県庁で開かれた。今年度のコンテストは、最優秀賞など従来の各賞の名称をもっと分かりやすくしようと、最優秀賞は「木づかい大賞」、優秀賞は「木づかい賞」、一般投票で選出する新築賞は「県民投票賞」に変更した。

応募作品「ほしい」を実現した無垢の家」で県知事賞（木づかい大賞）に輝いた企業組合県木住（青森市）の山崎佳子専務に対し、宮下宗一郎知事が知事賞の県産ヒバ製の桶を贈呈した。



宮下知事(右)と記念撮影。左から施主の小堀祥子様、息子の峻太朗くん、山崎専務

木づかい賞は、1952H1 NOKIYA一級建築士事務所（八戸市）& ㈱赤穂工務店（八戸市）と、㈱日沢建設（田子町）が受賞した。また、「津軽の食と産業まつり」（弘前市運動公園内）、「あおもり産木材ふれあいフェア」（八戸市、シンフォニープラザ沼館）、「大農林水産祭」（青森市産業会館）で順次行ったコンテスト応募作品パネル展示による一般投票で「住んでみたい家」として最も得票の多かった作品に授与される「県民投票賞」は、「住宅新築部門」では㈱日沢建設（田子町）、「住宅リフォーム部門」では㈱亜細亜建設（青森市）が選ばれた。

一方、審査員特別賞には「住宅リフォーム部門」でSHIRAKAMILIFEDESIGN建築設計事務所（五所川原市）、「非住宅その他木質化部門」で㈱WAA（十和田市）& ㈱福萬組（十和田市）がそれぞれ受賞した。

今回のコンテストには「住宅新築部門」に7作品、「住宅リフォーム部門」に2作品、「非住宅

新築部門」に1作品、「非住宅その他木質化部門」に3作品の応募があった。審査に当たった県建築士事務所協会会長の加藤彰審査委員長が、「審査委員による応募作品の書類審査を行い、住宅新築部門の5作品、非住宅その他木質化部門の1作品について外観および内観の現地審査をし、木づかい大賞1作品、木づかい賞2作品、審査員特別賞2作品を選定した。また、県内3ヶ所で行った一般投票の結果、県民投票賞2作品を選定した」と審査結果を報告した。

宮下知事はあいさつで、「今回の建築コンテストに皆様よりご応募頂いた住宅の写真パネルを拝見して、こういう木の家に実際に住んでみたいなという思いが致しました。それぞれに木の使い方や見せ方など随所に工夫があり、木に囲まれた暮らしの楽しさが伝わってきました。県産材の利用は、森林率が高い本県の森林再生につながり、ゼロカーボン立県へ向け県産材による家づくりがこのコンテストを通じてもっと広がることを願います」と述べた。

木づかい大賞に輝いた県木住の山崎専務理事は、「当社では創業した25年前から一貫して地域の山で育った木を使う「カーボンオフセット」の家づくりを続

けてきました。木づかい大賞の受賞はその評価だとありがたく受け止め、今後も展開してまいります」と語った。また、施主の小堀様は、「真冬でも無垢の木の床は柔らかいし、温かいし、快適な暮らしに満足しています」と述べた。

木づかい賞と県民投票賞のダブル受賞となった日沢建設の日沢勇社長は「特に「県民投票賞」を受賞したことがうれしいです。展示したパネルを見て、「こういう家に住んでみたい」と一票を投じてくださった方が多かったのですから、これ以上の励みはありません」と述べた。

一方、非住宅その他木質化部門で審査員特別賞を受賞した㈱WAAの渡部良平代表は、「元カソリンスタンドだった建物を、カフェやイベントスペース、会議室のある施設にリノベーションし、内壁の一部に青森ヒバを張りました。建物の再活用分野でも県産材を活用していきたい」と意欲を示した。

最後に齋藤会長が、「建築コンテストも16回を迎えました。今回は、従来の「非住宅部門」を「非住宅新築部門」と「非住宅その他木質化部門」とに分けて募集しました。今後も募集に工夫を加えながら継続していきたい」と締め括った。

木づかい
大賞

「ほしい」を実現した
無垢の家



薪ストーブのある開放的でホッとできる暖かな空間のリビング

どんな家を作りたいかをご夫婦で話し合い、決めたことは——①無垢の木②三角屋根③薪ストーブ④ヒバ丸太の大黒柱⑤シンプルなキッチン⑥最小限の収納。これらをすべて取り込んだうえ、吹抜けがもたらす開放的でホッとできる暖かな空間に仕上げました。

壁に塗ったホタテ粉末入りの漆喰は、調湿・消臭効果が通常の漆喰より高まります。また、天井には和紙を貼っています。建具はオーダーメイドで、床と同じスギを使用。柱もスギ、土台はヒバ、梁はアカマツとすべて青森県産材を使用しています。

講評

この作品は、施主さまの希望に沿い、無垢の木や薪ストーブを取り入れ、三角屋根がトレードマークの開放的で暖かな住宅となっています。

この作品は、施主さまの希望に沿い、無垢の木や薪ストーブを取り入れ、三角屋根がトレードマークの開放的で暖かな住宅となっています。

(加藤委員長)



青量とスギの木目がもたらす調和が美しい和の空間



- 建築場所／青森市
- 県産材使用量／24.9㎡
- 県産材使用率／72.8%

- 施工者(応募者)／企業組合県木住
住所／青森市浪岡大字徳才子字福田60-2
TEL.0172-55-7793
- 設計者／企業組合県木住
住所／青森市浪岡大字徳才子字福田60-2
TEL.0172-55-7793
- 木材調達先／青森県森林組合連合会
TEL.017-723-2657

木づかい
賞

柏崎の家



障子や吹抜けからやわらかな光が降りそそぐ明るいリビング

周囲に住宅が建ち並ぶコンパクトな敷地に、プライバシーを確保しながら、明るくやさしい住宅をつくりました。所々に中庭を設け、北側の部屋まで明るく、家中に風が通るようにしました。

障子や吹抜けからやわらかな光が降りそそぎます。手すりや家具、建具など手の触れるところはなるべく「青森ヒバ」のやわらかな素材感を生かすようにしました。



触れる手から青森ヒバのやわらかな素材感が伝わってくる

講評

この作品は、コンパクトな敷地中で、プライバシーに配慮しながら周囲の景観との調和が図られた実用性の高い住宅となっています。

県産のヒバやスギを外装や床などに使用し、地元の

職人の造作による家具や建具の採用により、木目と白地の洗練されたデザインとなっており、限られた空間を明るく快適にするための配置や動線の工夫が随所に見られ、木づかい賞に選出されました。

(加藤委員長)



- 建築場所 / 八戸市柏崎
- 県産材使用量 / 13.92㎡
- 県産材使用率 / 62.02%

- 設計者(応募者) / 1952HINOKIYA一級建築士事務所
住所 / 八戸市柏崎三丁目8-13
TEL.0178-43-3848
- 施工者 / ㈲赤穂工務店
住所 / 八戸市石手洗字油久保6-10
TEL.0178-96-5510
- 木材調達先 / 上北森林組合
TEL.0176-69-1200

木づかい
賞

県民投票
賞

お家で楽しもう！ すべり台のある家



太いアカマツの梁が安心感を与える



リビングの一角にはすべり台が設置されている

LDKの中心に対になって立つ2本の大黒柱が、家族みんなを見守っている。開放感ある吹抜けに、シンプルな木組みが見え、飽きのこない「魅せ方」は見る人、住む人に安心感を与えてくれる。どこを見ても温かみある木が使われていて、子供達を豊かにのびのびと育てていけるように設計しました。

お施主様の要望のすべり台とぶらんこは、家の真ん中に設置しました。完成後、コロナが広がり、「お家時間」が増えることになりましたが、お子様達はお家でもアクティブに過ごすことができましたよ。

講評

この作品は、施主さまの希望であるすべり台とぶらんこが室内に設置され、挑戦的でありながら、木組をあらわにした伝統的な工法とがマッチした住宅です。

対の大黒柱や曲がりのあるアカマツの梁により開放感と安心感を与える設計となっており、フレカットと手刻みの併用でコスト低減が

図られるなど、施主さまの希望を叶え、木に囲まれた空間を実現した点が評価され、木づかい賞に選出されました。

また、一般投票では「すべり台がうらやましい」、「木がふんだんに使われて落ち着く」という声が多く寄せられ、最多得票で県民投票賞に選出されました。

(加藤委員長)



木がふんだんに使用されているリビングとひと続きのキッチンまわり



- 建築場所 / 十和田市
- 県産材使用量 / 16.16㎡
- 県産材使用率 / 50.1%

- 施工者(応募者) / ㈲日沢建設
住所 / 三戸郡田子町大字山口字山口14番地
TEL. 0179-33-1839

- 設計者 / ㈲日沢建設
住所 / 三戸郡田子町大字山口字山口14番地
TEL. 0179-33-1839

- 木材調達先 / 三八地方森林組合
TEL. 0178-67-2003

暮らしつなぐ家



梁には青森ヒバなど県産材が使われている



▲リフォーム以前の外観。▼リフォーム後は、風除室の屋根上に雪が盛り上がる問題点がスッキリ解消

講評

この作品は、築28年の住宅の外壁と屋根を張り替えたりリフォームです。ファサード外壁などの外装や梁などの内装に青森ヒバが使用されるなど、少量ながら樹種の特性を活かした使い分けをしつつ、デザインとしても効果的に使用されていることから、審査員特別賞に選出されました。（加藤委員長）

五所川原市に建つ築28年の木造住宅。屋根・外壁材の全面張り替えと、一部居室の改修を行いました。リフォーム以前の課題は、猛烈な西風で雪が風除室の屋根

上に吹き溜まること。風雪を受け流すファサードを前面に立ち上げ、フラットな外観に。一部外壁と、居室の改修には青森ヒバ・アカマツ・ヒノキ・ナラなどを使用しました。



- 建築場所／五所川原市
- 県産材使用量／0.4㎡
- 県産材使用率／5.19%

- 設計者（応募者）／SHIRAKAMI LIFE DESIGN建築設計事務所
住所／五所川原市鎌谷町13-25
TEL.0173-67-4629
- 施工者／(有)シラカワ住研
住所／五所川原市大字姥菴字桜木370-3
TEL.0173-34-6806
- 木材調達先／駒井木材（株）
TEL.017-762-4004

県民投票
賞

青森ヒバ香る吹抜け
性能向上と意匠性を備えた
リノベーションハウス



節りの青森ヒバの羽目板が使用されている開放的なリビング吹抜けの天井

築47年の住宅の基礎・柱を補強しながら一部活かし、断熱性能を高めてリノベーションした住宅です。リビングを圧迫感のないように上部を吹抜けにし、天井には青森ヒバの羽目板を使用しました。アクセントを出すため節りの羽目板を採用し、床材などに使用している無垢材との違いを表わしました。

講評

この作品は、築47年の木造住宅のリノベーションです。

吹抜部分の天井に節のある青森ヒバの羽目板が使用されアクセントとなっており、2階バルコニーから風を入れるとヒバの香りがするよう工夫されています。一般投票では「明るく開放的で木の香りがしてつた」という声が多く寄せられ、最多得票で県民投票賞に選出されました。

(加藤委員長)



- 建築場所／青森市
- 県産材使用量／0.08㎡
- 県産材使用率／1.04%

- 施工者(応募者)／(株)亜細亜建設
住所／青森市三内丸山238番地1
TEL.017-766-6971
- 設計者／(株)亜細亜建設
住所／青森市三内丸山238番地1
TEL. 017-766-6971
- 木材調達先／(有)村口産業
TEL.0175-35-2147

審査員
特別賞

サンバスタンド

非住宅その他木質化部門

十和田市にある元ガソリンスタンドをリノベーションした施設です。①カフェを併設したコワーキングスペース②各種イベントや卓球教室などに利用できるイベントスペース③オンラインミーティングやクラフト教室などができる貸会議室——の3つのエリアで構成。施設内の壁や、2階廊下の壁の一部に青森ヒバを使用しました。



カフェを併設したコワーキングスペース

講評

この作品は、廃業したガソリンスタンドを、カフェやレンタルオフィスなどをそなえたコワーキングスペースとしてリノベーションを行った建物です。

内装材の一部に青森ヒバを無塗装で使用することで、木の自然な香りによるリラクセーション効果が図られているほか、青森県産の木であるヒバが利用者を迎えるように入口正面の垂れ壁に使用されているなど、少量ながら効果的に内装木質化を行っている点が評価され、審査員特別賞に選出されました。

(加藤委員長)

- 建築場所／十和田市
- 県産材使用量／0.16㎡
- 県産材使用率／9.81%

- 応募者／
(株)WAA・(有)下山旅館・(株)福萬組
住所／十和田市東一番町3-22
TEL.0176-51-5154
- 設計者／WAA
住所／十和田市東一番町3-22 TEL.0176-51-5154
- 施工者／(株)福萬組
住所／十和田市東十三番町15-27 TEL.0176-23-4111



新築住宅部門 応募

作品 長苗代の家



■建築場所／八戸市長苗代 ■県産材使用量／11.71㎡ ■県産材使用率／65.91%
 ■設計者(応募者)／1952HINOKIYA一級建築士事務所
 ■住所／八戸市柏崎三丁目8-13 TEL.0178-43-3848
 ■施工者／南家口建設
 ■住所／八戸市青葉三丁目6-17 TEL.0178-44-2363

新ストープを中心に、1階はなるべくオープンで回遊性のある間取りとしています。

下がり壁を設けず、必要な時に必要なだけ建具を閉めることで、明るく、暖気がまわりやすいように計画しました。

「青森ヒバ」や「青森スギ」など「無垢の木」をふんだんに使ったやさしく、かわらかな住宅です。

玄関ドア・キッチン・階段・内部造作家具に至るまで、「青森ヒバ」などの地元の木を使用した地元職人による制作です。

作品 福の家

構造材は全て県産材で、4寸角です。土台・大引・根太には青森ヒバ、柱・梁には南部赤松を使用しています。内装の一部には青森杉を使い、自然豊かな青森県の情景が感じられるよう工夫しました。

熱交換器を利用し、壁付けの冷暖房エアコンを利用しながら内部の壁・床下・天井裏まで空気循環をさせることによって、押入れ等の閉め切った空間も常時換気が行われています。さらに空気循環装置には電子式集塵装置を組み込み、PM2.5、黄砂、花粉等の細かい粒子も室内に入れないよう配慮しました。



■建築場所／南部町 ■県産材使用量／30㎡ ■県産材使用率／99%
 ■施工者(応募者)／株松本工務店
 ■住所／三戸郡南部町大字上名久井字外ノ沢10-2 TEL.0178-76-2623
 ■設計者／株松本工務店
 ■住所／三戸郡南部町大字上名久井字外ノ沢10-2 TEL.0178-76-2623

作品 ゆったりと時間が流れる家



■建築場所／青森市浪岡 ■県産材使用量／12.5㎡ ■県産材使用率／47.7%
 ■施工者(応募者)／企業組合県木住
 ■住所／青森市浪岡大字徳才子字福田60-2 TEL.0172-55-7793
 ■設計者／企業組合県木住
 ■住所／青森市浪岡大字徳才子字福田60-2 TEL.0172-55-7793

薪を運び入れやすいように、玄関に薪ストープ

を置きました。そのすぐ横には濡れたコートをかけるスペースを設置。無垢材の木と、ホタテ粉末入りの漆喰、土佐和紙と自然素材を多用。リビング吹抜けには太いアカマツの梁が整然と並び、木の香りに包まれたとても癒される空間になっています。

建具はすべてオーダーで、床と合わせたスギ材で統一感を持たせています。土台はヒバ、柱はスギ、梁はアカマツとすべて青森県産材。

休日には、田園風景と上空を通る飛行機を眺めたりしながら、ゆったりと過ごせる23坪の平屋です。

作品 気配が伝わる家

4人家族の住宅。敷地の奥にご両親の住む家があり、常に互いの存在が伝わるようにとその間にコミュニケーション空間として「交流ガーデン」を設けた。

道路に沿ってアルコブ(建物の壁面の一部を窪ませて造ったスペース)を設けて玄関を配し、和室からダイニング、リビングへとつながる。南面は大きな開口部とし、降り注ぐ日差しと風を取り入れる。家族の個室は上階に設け、リビングの吹抜けを紹介して「セカンドリビング」と名付けた2階のホールと接続。家族が自分の好きなところに居場所が作れ、互いの気配が感じられる——ことがご夫妻の要望であった。



■建築場所／八戸市
 ■県産材使用量／63.52㎡ ■県産材使用率／100%
 ■施工者(応募者)／株大山建工
 ■住所／八戸市大字河原木字千刈田7-1 TEL.0178-21-3055
 ■設計者／暮らし十職一級建築士事務所
 ■住所／埼玉県北本市石戸4丁目181 TEL.048-592-6662

非住宅新築部門応募

作品 海鮮亭 東海



■建築場所／八戸市鮫町 ■県産材使用量／30.37㎡ ■県産材使用率／94.11%
 ■施工者(応募者)／(有)大坊建設
 住所／三戸郡田子町大字田子字下田子69-4 TEL.0179-32-3580
 ■設計者／東光産業(株) 二級建築士事務所
 住所／大館市釈迦内字街道上13-8 TEL.0186-48-5118

八戸沖、そして小舟渡海岸を一望しながら食事のできるように設計されたお食事処です。潮風を感じながら食事が楽しめるようテラスもあります。店舗ながら、大半を県産材を使用し、伝統的な和風建築のようでありながら、屋根のデザインが特徴的です。内装にも木製の装飾を使用しており、格天井や天井照明などで上質な空間に仕上がっています。

非住宅その他木質化部門応募

作品 KOYA — 古屋 —

かつて物置小屋だった建物を1階部分の屋根形状を変え、屋根の葺き替え、外壁の貼り替えをしました。急だった階段も作り直し、勾配をゆるくすることで物の上げ下ろしが安全にできるようになりました。

■建築場所／七戸町 ■県産材使用量／0.16㎡ ■県産材使用率／9.41%
 ■施工者(応募者)／(有)岩木建設
 住所／十和田市大字洞内字井戸頭175-1 TEL.0176-27-2906
 ■設計者／いわ木の家 設計事務所
 住所／十和田市大字洞内字井戸頭175-1 TEL.0176-27-2906



この倉庫は、約140年前の建物を、古民家再生の概念で使用できる構造材は再利用し、補強の必要などところは新材で継ぎ足して建てたものです。古い木材、新しい木材はほぼ県産材です。古民家再生には多額の費用がかかりますが、カーボンニュートラルに貢献し、また白川郷のように新たな本県の観光資産になると思います。

■建築場所／南部町 ■県産材使用量／17.5㎡ ■県産材使用率／96.25%
 ■施工者(応募者)／(株)松本工務店
 住所／三戸郡南部町大字上名久井字外ノ沢10-2 TEL.0178-76-2623
 ■設計者／(株)松本工務店
 住所／三戸郡南部町大字上名久井字外ノ沢10-2 TEL.0178-76-2623

作品 福の蔵



青森県産材を使うことでのメリット

メリット1

二酸化炭素の排出を減らす

海外や県外からの輸送に比べ、運搬距離を大幅に短縮でき、木材を運ぶ船やトラックが運搬の際に排出する二酸化炭素を軽減できます。

メリット2

木を使うことで、森林が守られ育てられる

森林は、その土壌が雨水を吸収することで、洪水や土砂崩れなどの災害を防いでいます。また雨水を浄化し、海を豊かにするなどの重要な役割を持っています。成熟期に入った木は伐採して利用し、また新しい木を植えて、森林のバランスを整えることで、地域の森林を守り、育てていくことができます。

メリット3

地域の木材産業の活性化につながる

地域で育った木を使って家を建てることで、青森県の気候・風土に合った快適な家づくりができます。また森林を守り、育てていくことや、木材の生産・加工、住宅建築など、地域の木材産業の育成や発展につながります。